

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-161	22-007	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名（原題／訳）</b> Trends and correlates of spatially aggregated alcohol-involved crashes among Whites and Hispanics in California カリフォルニア州における白人およびヒスパニック系移民のアルコール関連事故の空間的集計の傾向と相関関係		
<b>執筆者</b> Caetano R, Vaeth PAC, Gruenewald PJ, Ponicki WR, Kaplan ZB, Annechino R.		
<b>掲載誌</b> Alcohol Clin Exp Res. 2022 Aug;46(8):1449-1459. doi: 10.1111/acer.14884.		
キーワード	PMID	
アルコール販売、アルコール関連事故、国境、人種、社会人口学的相関	35702933	
<b>要 旨</b> <p> <b>目的：</b>カリフォルニア州人口の76%を占めるヒスパニック系と非ヒスパニック系白人（白人）について、2005～2016年のアルコール関連自動車事故（AMVC）の傾向と、AMVCと運転者や地域特性関連因子との相関を検討することを目的とした。         </p> <p> <b>方法：</b>2005～2016年の自動車衝突事故データは、カリフォルニア州ハイウェイ警察が管理する統合交通記録システム（SWITRS）から得た。SWITRSでは、アルコール関連のデータは、現場での確認か検査結果に基づき追加され、運転者、被害者の人種も特定されている。衝突地点は、94%が緯度・経度で地点登録され、カリフォルニア州酒類管理局から入手したアルコール販売免許情報は、バー、レストラン、小売店の所在地を種類別に示している。米国国勢調査による社会人口統計学的データ、地域特性データ、アルコール販売店密度を国勢調査区ごとに集計した。全自動車事故とAMVCについて、階層ベイズ型ポアソン時空間モデルを用いて、運転者や地域特性関連因子との相関を分析し、相対リスク（RR）および95%信頼区間（CI）を算出した。         </p> <p> <b>結果：</b>分析期間中の傷害事故、死亡事故200万件以上のうちAMVCは11%で、うち約1.7%が死亡事故だった。AMVCの発生率は、2008年までは増加し、2008年以降、白人では2016年まで減少、ヒスパニック系では2009、2010年の2年間減少した後増加した。AMVC発生率期待数を基準とした関連因子の相対リスク（RR, 95%CI）は、国境からの距離が近く（1.016, 1.010-1.022）、バー・パブが高密度（1.005, 1.003-1.007）であること、男性比率（1.006, 1.004-1.007）、ヒスパニック系人口比率（1.006, 1.003-1.009）、18-29歳比率（1.010, 1.008-1.012）、40-49歳比率（1.005, 1.003-1.006）、米国出生者比率（1.013, 1.009-1.017）、150%以下の貧困層割合（1.006, 1.003-1.009）、失業率（1.002, 1.001-1.003）、空き家率（1.006, 1.004-1.008）、持ち家率（1.015, 1.013-1.017）が高い場合にAMVC発生率と正の相関がみられた。         </p> <p> <b>結論：</b>ヒスパニック系人口割合、国境までの距離、男性割合、年齢分布、社会経済的安定性は、AMVC発生率と正の相関を示し、個人特性と居住地域状況の両方が寄与することが示唆された。地域内のアルコール入手可能性を低下させることが飲酒運転対策に有効である。         </p>		